

## 平成30年度 福岡県中学校新人サッカー大会申し合わせ事項

- 1 日本サッカー協会制定の《2017-2018競技規則》及び本大会要項を適用する。
- 2 競技者は競技規則を遵守し、監督やコーチもフェアプレーを第一に考えて試合に臨む。
  - ① ベンチに入ることができるのは、登録されたチーム役員2名(監督・コーチ)、交代要員7名の9名以内とする。交代要員以外の選手・保護者等は制限区域以外(フェンス外)・観覧席で応援すること。管理職の先生については、本部席での応援とする。
  - ② 登録された選手の変更は、受付時に選手変更届を提出し、監督者会議の時に確認する。
  - ③ テクニカルエリアを設け、ベンチ入りした役員(監督・コーチ)のうち、その都度1名がその範囲内で指示をすることができる。その際、責任ある態度で行動すること。
  - ④ チーム帯同のトレーナーは、ベンチ外で待機する。トレーナーに診てもらう場合は、審判団に許可を得て選手をベンチ外に出し、そこで治療等を行うこと。また、選手を復帰させる場合も本部役員(MC)に報告してベンチ外に選手を入れること。なお、帯同トレーナーがいる場合は、MCMにチーム責任者とともに参加させ、確認すること。
  - ⑤ 主審は、ベンチから判定に対する異議や不服とみなされる言動があった場合、役員を退席させたり、交代要員を退場させることができる。
- 3 マッチコーディネーションミーティングについて
  - ① 試合開始70分前に、マッチコーディネーションミーティングを行うのでチーム責任者は出席すること。
  - ② メンバー表を4部準備すること。
  - ③ ユニフォームの確認を行うので、FP・GKのシャツ・パンツ・ストッキングを2種類とも持参すること。
- 4 ユニフォームについて
  - ① シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手番号を付けること。
  - ② 審判員と同一色または、類似色(黒または紺)のユニフォームをシャツに用いることはできない。また、ショーツとストッキングは黒または紺のみでも可また、両方が黒または紺であるものも許される。ゴールキーパーについても同様である。
- 5 ウォーミングアップについて
  - ① フィールド内のウォーミングアップについては、大会1日目については、各会場第1、3試合は試合開始の30分前から10分間行うことができる。第2試合は、前の試合のハーフタイムの5分間のみとする。大会2日目については、準決勝・決勝とも試合開始30分前から10分間とする。
  - ② 試合中のウォーミングアップについて、競技場はベンチ横でボールなしで行う。
  - ③ 試合前のウォーミングアップは、各会場のアップ会場で行う。なお、次ゲームのチームを優先すること。
- 6 試合について
  - ① 試合開始4分前に、選手の確認と用具に点検を行い、不備な点があっても試合開始は遅らせない。
  - ② 試合前のセレモニーについては、1・2回戦はフィールド中央での対面式とし、自分の前に並んだ選手と握手をする。準決勝・決勝戦については、審判員・相手選手と握手する。
  - ③ 延長戦やPK方式が行われる場合、選手はフィールドから出ずに休憩・飲水・監督の指示等を受ける。その際交代要員は、競技者と明確に区別できるようにすること。
  - ④ 競技中の飲水については、あらかじめ準備されたやわらかい容器をタッチライン、ゴールラインから1m以上離れた場所に置いておき、ライン上で飲水すること。容器の中身は「水」で、氷は入れてよい。
  - ⑤ インターバルは、90分は確保する。
  - ⑥ 警告や退席については、大会要項通りで、退席になった役員の処遇についてもそれに準ずるものとする。
- 7 競技者の用具について
  - ① スパッツを使用する場合は、パンツの主な色または裾の色と同色とする。
  - ② ミサガなどの装飾品は認められない。ギブスなどの固定具等については、MCMで確認し了承を得てからのみ出場できる。
  - ③ ソックスは膝下まであげ膝がはっきりと見えるようにする。シャツはショーツにきちんと入れて競技すること。
  - ④ ソックスバンドやテープ、アンクルガード等を着用する場合、それは着用するまたは覆う部分のソックスの色と同じものとする。
  - ⑤ アンダーシャツを着用する場合は原則として袖の主たる色と同色とする。